

(前ページより続き)

過剰サービスはやめ、規範やルール、道徳を身に付けさせることにこだわり、3月に活動を抜本的に改めた。「オープン型子ども食堂」とし、誰でも参加可。ただし、時間を守り、お手伝い、共同作業をしないとご飯をあげない。ルール、時間を守ることを教えたい。クローズ型の無料塾も開いている。

経済的な困窮世帯で、頑張っている高校受験の子らが対象だ。学校の先生が推薦してくれる。将来は支える側になってほしいと願う。子が頑張る時に足を引っ張るのは親だ。

「無理だよ、どうせ」など。親と一緒に面接し、子どもが頑張りたいと言い、「こちらは無償で応援するから、お母さんは応援してあげて」と伝える。親に「うん」と言わせると、子どもを応援するようになる。

最後に問題提起したい。人、モノ、金、情報を正しく集めて運営することが大事だが、県内120の居場所には圧倒的に不足している。お金を出している間に人づくりしなさいと行政側は出しているが、人が育っていない。人、モノ、金は経営だ。企画、マネジメントだ。ロータリークラブの会員が普段していること、社員にしていることが、子ども食堂の現場にも通じる。今後の活動で資金拠出を考えてほしい。地域でもう一步踏み出し、ノウハウを提供してチームに一度入っていただき、入る社員の肩を押してほしい。子どもの居場所が良くなる結果、社会全体が良くなり、沖縄経済全体が良くなる。子どもの貧困対策を未来への投資と位置付け、子どもたちに笑顔の花を咲かせる未来づくりに向け、お力を貸していただきたい。

文責：クラブ会報委員長 松元 剛

「世界でよいことをしよう！」

## 沖縄分区分IM閉会式 発言まとめ

### ◇総評 (松坂順一ガバナー)

いろいろなプログラムがあった。ロータリークラブが地域社会に何を求められているか、今必要なことは何かを模索すれば、今日のような(子どもの貧困問題)問題にも突き当たるだろう。個人奉仕に否定的な面もあったが、今の社会の中では必要ではないかとあらためて考えさせてもらった。ロータリーの歴史を学びながら、今、必要なことはこういうことだと感じ、ロータリー活動に生かしてほしい。今日のIMは100点満点と感じる。ご苦労さまでした。

◇地区社会奉仕委員長挨拶 (田中久光委員長:浦添RC) ロータリークラブの会員になり、3年9カ月。先輩方には到底及ばない未熟者だが、一生懸命取り組んでいる。今後ともよろしくお願ひしたい。

◇次年度ガバナー補佐挨拶 奥本弘文氏、(名護RC) 来年度の新本博司ガバナーのアシスタントとして一生懸命頑張りたい。各クラブ訪問を楽しみにしている。

官城富夫氏(宜野湾RC) 新本ガバナーの活動がスムーズにいくように頑張りたい。宮古島RCが来年度IMの担当だ。素晴らしい企画に加え、ゴルフコンペもある。参加をよろしく、お願ひしたい。

### ◇次年度ホストクラブ挨拶

松原徹夫宮古島RC会長(代理・下地信輔次年度IM実行委員長) 来年は10月23日に開催する。航空便とホテルの予約をすぐお願ひしたい。素晴らしいゴルフ場が3つある。楽しくIMをやりたい。ご来島をお待ちしている。

◇閉会点鐘(芝田祐蔵ガバナー補佐) 感謝を込めて、沖縄分区分IMを閉会する。

# 週 報

## インスピレーションになろう

Be the inspiration

バリー・ラシン

2018-19年度 国際ロータリー会長



## 第2825回例会報告

### 例会記録・予定

#### 出席報告

会 員 数	79名
出 席 計 算 会 員	79名
出 席	30名
欠 席	49名
出 席 率	37.97%
訂 正 出 席 率	67.09%

欠席会員名 森、上原(義)、戸田、中村、碓井、東川平(靖)、亀川(偉)、吉村、長山、与儀、平良(修)、木全、崎山、杉本、三反園、長嶺(善)、保田盛、喜屋武、許田、津嘉山、伊志嶺、國吉、具志堅、今福、渡辺、下石、新垣(安)、朱、宜保、吉岡、井手上、白石、北田、上原(進)、与那覇、上原(修)、真栄城、新垣(竜)、長嶺(国)、川井田、藤井、米須、赤嶺、石垣、今西、下地、川畑、佐久本、相良。

MAKE-UP 山城、松島<那覇南・宜野湾>山城<那覇北>新本、新垣(典)、伊志嶺<次年度ガバナー補佐研修会-東京>安里、宮城、鈴木<奄美>新本、新垣(典)、山城、安里(政)<東京東江戸川創立50周年記念式典・祝賀会>

ビジター 二宮 徹氏(福岡城西)

#### ☆プログラム

11月6日(火)「RLIについて」  
国際ロータリー第2580地区  
根路銘 敦 地区研修サブリーダー・PAG(那覇東)  
11月13日(火)「RYLAについて」  
国際ロータリー第2580地区  
地区RYLA委員 小林 充氏(那覇西)

#### ■ガバナー公式訪問前 クラブ協議会

日時:2018年11月13日(火)11:15~ 例会場

#### ■2018-19年度 松坂 順一 ガバナー公式訪問

日時:2018年11月27日(火)

於:パシフィックホテル沖縄2階

\*会長・幹事との打ち合わせ 10:30~11:15「マカハ」\*クラブ協議会 11:15~12:15「カネオへ」

<理事役員・各担当委員長・新会員>

\*例会 12:30~13:30「ワイケレ」

#### 那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西3-6-1(パシフィックホテル沖縄1階) TEL 868-1224 FAX 861-4918  
E-mail アドレス [naha-rc@m1.cosmos.ne.jp](mailto:naha-rc@m1.cosmos.ne.jp) HP アドレス: <http://naha-rc.org/>  
会長 山城 博美 副会長/クラブ奉仕委員長/会長エレクト 上原義信 副会長/クラブカウンセラー 亀川 榮一  
幹事 松島 寛和 クラブ会報委員長 松元 剛 副委員長 井手上 功 委員 今福 吉和

■ニコニコBOX(\*^^)

山城 博美 会長

10/16のIM大変お疲れさまでした。次は60周年事業に向かって全会員、心を合わせて進みましょう。ニコニコ。

亀川 榮一 会員

IMを終えて、皆様御苦勞様でした。ニコニコ。

親泊 一郎 会員 IM御苦勞さまでした。

森 兵次 会員 ツールドおきなわ 30 回記念大会 エントリー数 5,050 名に達し、ニコニコ。

■幹事報告 松島 寛和 幹事

\*国際ロータリー日本事務局経理室より 2018 年 11 月の R I レートは 1 ドル 112 円です。

\*本日、次年度のロータリー財団地区補助金申請の面談 (TV 会議システム) は、本日 15:05 からです。比嘉孝明会員よりお願い致します。

\*ガバナー公式訪問前のクラブ協議会を 11:15 (例会前) ご案内しておりますが、例会后 13:35 へに変更致します。本日 FAX にて再度ご案内いたしますので、よろしくお願い致します。

\*第 3 回ロータリー研修会のご案内

日時: 2018 年 11 月 27 日 (火)

時間: 午後 3 時 開会 (受付 2 時 30 分より) ~

午後 5 時 場所: ホテルロイヤルオリオン

会場名は当日ホテル案内板でご確認下さい

登録料 1 名 : ¥3,000 (当日ご持参下さい)

研修会終了後、懇親会を予定しております会費

¥4,000、地区役員を交えて楽しくロータリー談義

をしたいと思っております。\*申し込み期限 2018 年 11

月 20 日迄 期日厳守 (クラブ事務局まで)

■新会員候補者についての通知

理事会で次の方の入会が承認されましたので

異議のある方は 7 日以内に申し出下さい。

氏名: 高津 友彦 (たかつ ともひこ) 氏

職業分類: スポーツ団体

職業: 琉球フットボール (株) 経営企画室 室長

■特別会計 2018~2019 年度 ニコニコ BOX

本日のニコニコ BOX ¥8,000

ニコニコ BOX 累計 ¥193,000

■会長報告

山城 博美 会長

\*IMお疲れさまでした。多くの皆様から素晴らしいIMだったとお褒めの言葉を頂きました。安里実行委員長はじめ各部会の皆さん、ありがとうございました。

\*先週、松島幹事と共に遅ればせながら、新本GEへの協力金のお願いに那覇南、宜野湾、那覇北のクラブ訪問へ伺いました。今後も日程調整の上、全クラブを訪問致します。

\*本日は、當間地区ロータリー財団委員より 11 月のロータリー財団月間に向けての卓話です。どうぞよろしくお願ひ致します。(本日の卓話は紙面の都合で来週掲載させていただきます。)

■沖縄分区IMへのご協力ありがとうございました。 安里 政晃 IM実行委員長



実行委員長自ら、他クラブへのPR活動も率先して行いました。お疲れ様でした。

■10月24日は世界ポリオデーです。



昨年引き続き本日もカレイライス。差額分お一人当たり七百円を寄付致しますと宮城ロータリー財団委員長

■他クラブ例会変更

・名護RC 11/7 (水) 19:00~ 場所: 焼肉乃我那覇 本店 (名護市宮里 1410-1 2F)

ビジター費: ¥5,000 (名護市役所前のロータリー花壇清掃 16:00~後、移動例会)

・那覇北RC 11/8 (木) 18:30~20:30

場所: 新都心 水の道公園 (添石会員主催の夜のピクニックへ参加) 参加費: 500 円

軽食代 ¥2,000~¥2,500 \*お食事の手配が

ございますので事前連絡をお願い致します。

那覇北 RC TEL 943-2757 休会 11/22 (木)

・那覇西RC 休会 11/21 (水)

■2018—19年度沖縄分区IM 講演

自己肯定感低い貧困世帯の子ども

先進国における貧困は、相対的貧困だ。一人親世帯で手取り 122 万円、4 人世帯で 244 万円以下で、「普通の生活」を享受できない子どもが相対的貧困層。2017 年、ゼロ歳から 17 歳の子どもが県民 146 万のうちの約 30 万人。うち 500 人が児童養護施設で親と離れて暮らし、その 95%以上が親からDVを受けている。4500 人が生活保護世帯で暮らす。世帯年収 122 万円、244 万円以下の貧困状態の子どもが 9 万人、全国平均の倍いる。県のアンケートによると、「頑張ったら報われる」に「そう思わない」と回答した子が貧困世帯は 8%、「自分は価値がない」は 20%でいずれも非貧困世帯の倍だ。貧困状態の子は自己肯定感が低い。未来に希望がもてず、心が折れている。労働人口の現役世代、社会の担い手が減り、将来、社会的損失が起きる。収入が減り、社会保障費がかさむ。さらに自己肯定感がなく、未来に夢を持っていない子が増えていく、そのままでもいいのか。国づくり、教育、子どもの貧困対策は未来への投資だ。財政出動や政策立案の必要性を示す一番の根拠だと考える。(子ども食堂立ち上げの)きっかけは、浦添市で育児放棄に遭っている兄弟と出会ったことだ。万引き少年が逮捕され、ネグレクトが分かった。中学の不良グループに小学 4 年生が万引きさせられていた。初めて会った校長室。冬の寒い日だったが、兄弟 3 人がタンクトップを着てへそが見えていた。靴は履いているが、靴底がなかった。兄弟で支え合い良く生きてきたな、大人が何とかしないといけないと寄り添い方の支援を始めた。当初は服、靴の支援をしたが、足りない。給食のない日はご飯が食べられず、独居老人宅の窓ガラスを割って回るなど、憂さ晴らし

ていーだ子ども食堂 代表 梁 裕之 氏

の行動を取ってしまう。

そこで子ども食堂を始めた。沖縄初の大人も子どもも参加費ゼロ円。全部寄付でまかなった。経営理念・指針は「ゆいまーるで、こどもたちと接し、自尊心を回復し、自立への学びを促し、ココロと体を休める居場所を提供し、自己肯定感をはぐくむ」だ。地域の健全育成に寄与し、子どもの心を温めることに徹した。3 年やってきた中で、課題が出てきた。何とかしてあげたいという気持ちが高じ、一部スタッフのところでも問題が起きた。学校が終わると、まっすぐ一度は帰らないと児童生徒が保険対象にならないので、浦添市教委、学校は帰宅指導をする。条例が間違っているとして子どもを引き受けていた。次に、いつ作り、いつ食べるという決まりが破られるようになった。深刻だった。黙って、家出少年らにご飯をあげ、家出を助長してしまった。

反省踏まえ、原点に回帰

子どもファーストなら何をしてもいいのか。過剰な運営でメンバーが疲弊し、当初の 6 人が 2 人になった。僕と二人で。毎日晚ご飯を好きな時間に作り、長期休暇は朝、昼、晩のご飯におやつも作った。ことし 2 月には平日に 100 人来た。自助力が育ちにくくなり、更正も進まなくなった。過剰なサービスを要求する「甘える親」の問題も。人員 2 人になり、立て直すので閉館すると張り紙したら、私らの子の晩ご飯がなくなると署名運動され市に出された。驚いた。原点に戻らないといけないと考えた。年収 122 万、244 万円以下のほんとに困っている貧困世帯の子どものに絞り、(次ページへ続く)